

団地センター集会所の改修に向けて

建物の老朽化に伴い団地センターの集会所の改修が実施される予定です。再生協議会では、利用者への意見聞き取りを行い、以下の通り「改修の方針」をまとめました。よりたくさんの方に、これまで以上に使っていただけるよう提案していきます。改修工事は2018年度を予定しており、全面工事ではなく和室と

ホールを交互に実施する等、なるべく利用を妨げない工法・期間を検討しています。決定しましたら、あらためてお知らせいたします。

また、2018年度からはNPO法人ワトワーズ多聞台が管理主体となります。集会所へのご意見・ご要望がありましたら、ぜひ、お寄せください。

集会所に関するご意見は... 多聞台地域福祉センター FAX: 785-7030 ㊚: tamondai@way.ocn.ne.jp

改修の方針

だれもが気軽に立ち寄れて、使いやすい、心地のよい集会所にしよう。

新しい活動や人々の交流が生まれるような場所にしよう。

多聞台の“顔”である団地センターの中心機能に寄与する機能や動線を確保しよう。

地域の要望・改修イメージ



* 集会所利用者を対象に実施したアンケート結果をもとに意見を集約しています。

多聞台団地 再生・活性化 まち便り #15

2018年1月発行
多聞台団地再生協議会
事務局 垂水区まちづくり課
TEL 078-708-5151 (内 398)

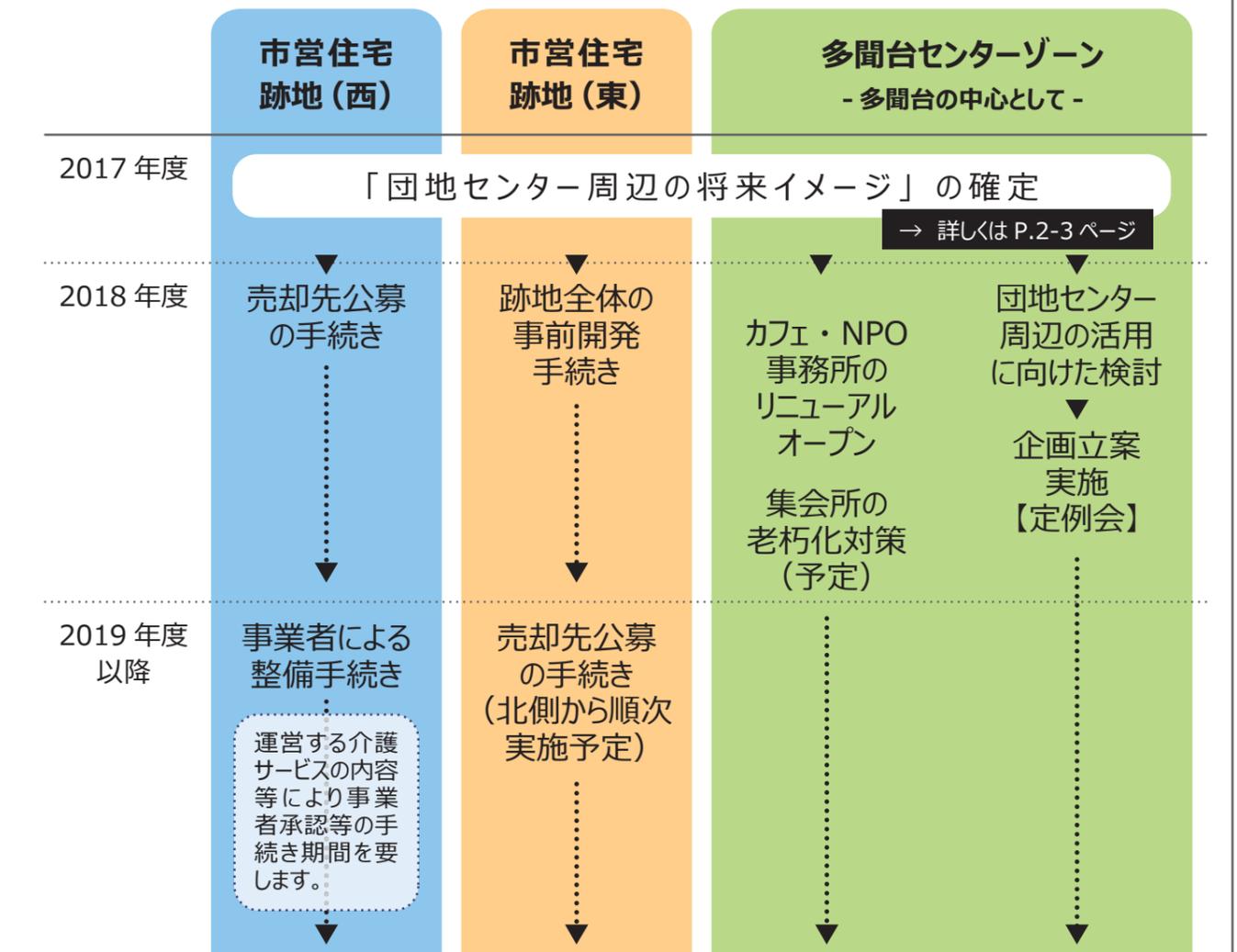
多聞台団地のいま・これからを考える「団地再生協議会」の広報紙

多聞台団地 再生協議会 開催報告

昨年の12/8に第15回再生協議会が開催され、「みんなの生活と交流サポート」や「たもん・センター・カフェ!」「ワーキング2」「地域再生計画(案)」について報告がありました。これまでの活動を踏まえ、2018年度以降は「団地センター周辺の将来イメージ」(2-3頁参照・3/1の再生協議会にて確定予定)をもとに活動していきます。市営住宅跡地については市による売却の手続きが開始されます。地域では団地センター周辺の活用について、実験的なプログラムを実施していく予定です。

今後の予定

※手続きが最短で進んだ場合のスケジュールになります。
※以下はWG2の中で確認された内容です。3/1の再生協議会で承認される予定です。



基本方針

1. 「子育て世帯等の若年層の定住促進」「高齢層の生活支援機能の充実」「コミュニティ機能の活性化」の3点に寄与する。
2. エリア全体を、誰もが自由に、快適に、行き来できる動線を確保すること。また、それらはユニバーサルデザインに十分配慮したものとする。
3. 多聞台全体の魅力を高める一体感と求心力のある空間デザインとする。
4. 地域内だけでなく、舞多聞等の周辺地域とのつながりや、人々の往来が生まれるような道路空間を確保する。
5. 整備にあたっては、周辺施設や環境の変化に対応するべく、可変性のあるプランとする。また、地域団体やNPO法人等と連携し、意識の共有を図りながら進める。

高齢者福祉交流ゾーン

【地域に開かれた高齢者福祉施設を導入し、高齢層の暮らしの安定と団地内での居住継続を支援する】

利用者の暮らしが施設内で完結するのではなく、一地域住民として人々と交流を保てるような生活の在り方や活動を支援・促進する。また、交流スペースを確保し、施設利用者だけでなく地域全体の住民も含めた交流促進に寄与するものとして計画する。中央住宅や南側の通学路、団地センターへの動線を拡充する。法面については、周辺との調和に配慮して整備する。地域住民も利用可能なサービス、小規模多機能サービス等を提供する。

これまでに頂いた

具体化のアイデア

市営住宅跡地（東）・・・静観で広大な住宅地は魅力的で将来が楽しみ。静かな住環境が良い。/ 明石海峡大橋が見える。/ 戸建て住宅に併せて、誰でも憩いの場（青雲の公園）に集まれるように。/ モダンな住宅がよい。/ 北側から開発を進める。南側は戸建住宅以外の建設も含め検討。/ 南西角にコーナーガーデン欲しい。/ 中央住宅とお互い視線が通る。/ 南側の断崖絶壁をなんとか解消したい。

市営住宅跡地（西）・・・ホールを建て各種教室を開催。食堂の実施。/ 福祉関係のものでもいろいろ考えられるのでは。地域に開かれた事業所・作業所。障害のあるお子さん（本人・家族）が安心して暮らせる環境。子供たちの事業所、成人のための事業所。/ 日当たりなどが心配。周辺住宅に配慮を。/ 西側の法面、コンクリートの城壁にするのはやめてほしい。地域と共同で管理する畑にできないか。

団地センターやバスロータリー、中央公園、ショッピングセンター・・・団地センターの北側あまりにも低利用。“表の顔”になるように整備したい。/ 倉庫は一つにまとめよう。/ バスロータリーは無くして、道路沿いにバス停をつくる。/ バス停がショッピングセンター側にでき、活性化する

団地センター周辺の将来イメージ（案）



一般住宅ゾーン

【子育て世帯向けの一戸建住宅、二世帯住宅、高齢者の団地内住替えのための受皿となる住宅等を適切に配置する】

子育て世帯を中心とした若年層の定住を促進し、地域全体のコミュニティバランスの是正とソーシャル・ミックスの実現を図る。建築物は日照や眺望など周辺住民の住環境を損なわないようその配置・高さ等を配慮する。また、多様な世帯構成、ライフスタイルに対応可能な住宅を混在させるのが望ましい。街路・公園・共有地等のオープンな場としての交流スペースを確保する。また、それらは、当該住宅内の居住者だけでなく、地域全体の住民も含めた交流促進に寄与するものとして計画する。各戸の境界には、敷地（民地）と街路（公共空間）をつなぐコミュニティの醸成に寄与する空間要素（たとえば、テラス、縁側、背割の路地など）を取り入れる。

多聞台センターゾーン

【多聞台の中心として、利便性や魅力を向上する】

カフェ、集会所、NPO 法人事務所等、地域活動の拠点となる場所を整備・改修し、人々の交流を促進、多聞台の中心機能を再活性化する。センター周辺の低未利用地を活用し、新たな通路や駐車場を設け、中心地へのアクセス性を向上する。団地センター、バスロータリー、及び中央公園を一体とした交流空間としての在り方を検討する。歩行者の安全を確保するため、歩行者動線の見直し安全対策を検討する。

「多聞台団地地域再生計画」（案）への多くのご意見、ありがとうございました。それらを踏まえ、計画を修正し、上記の「イメージ（案）」を作成しました。2018年度以降の活動の基盤となるものです。3/1の再生協議会での承認に向け今一度、ご確認をお願いいたします。

「イメージ（案）」に関するご意見はコチラまで▼

*多聞台地域福祉センター

FAX 785-7030

✉ tamondai@way.ocn.ne.jp

頂いたご意見への回答や再生計画については、次号「まち便り」にてお知らせします。

店が増えればよい。/ バス道沿いの歩道が狭い。/ 中央公園（ショッピングセンター側）と団地センターの間、安全に横断できるように。/ 安全にイベント運営できるよう中央公園と一体になった公園として整備したい。/ ショッピングセンターのお店が少ない。生活するには不便な感じがします。/ 日常雑貨の店ができないかな？

動線やアクセス・・・西跡地と団地センターとのつながり、高低差が大きいので、どうつなぐか？/ 市営住宅と西跡地の間の道路の整備（拡幅）を。/ 市営住宅と西跡地が行き来できると良い。/ 中央住宅とのつながりを考慮して、その入り口を大事にする必要がある。/ 舞多聞から東跡地を通して、安全に道路を渡って来られるように。

全体・・・地区内にきちんとした歩道が必要。道路幅も広いところ・狭いところがある。/ 緑が多い。せつかなのでできるだけ残して欲しい。/ 各街区や施設の入口をどこに設けるか、車の動線も含めて検討が必要。/ センターの前以外で駐車場が欲しい。/ 有料の駐車場で、NPOの収益事業として展開したい。/ 整備までの間、市営住宅跡地を駐車場として暫定利用し、この周辺にどれくらいの車が集まるのか実験してみたい。/ 野球、サッカーのグラウンド 誰が整備するのが課題。